

といちくだよい

3
月号
March

発行責任者 / 鎌谷 一也 編集責任者 / 西村 京二 2010年(平成22) 3月号 鳥取県畜産農業協同組合



平成21年度畜産大賞表彰式の様子

「畜産大賞」を受賞 しました

代表理事組合長 鎌谷一也

2月8日 東京にて畜産大賞の受賞式があり、赤松農林水産大臣もお祝いに駆けつけられました。経営部門、地域振興部門、研究部門それぞれの最優秀賞の中で一つ選ばれる大賞です。日本一といっても良い、非常に栄誉ある賞です。農協設立30周年の今年に受賞し、改めて、大きな礎を築いて頂いた、先輩の方々、地域の人々、そして行政の皆さん、生協の皆さん、本当に多くの人々の支えがあつて受賞できたものと心より感謝申し上げます。

1980年に東部畜産農協(畜)を設立。津ノ井の店舗時代、トーチクのお肉、美敷牧場のお肉と皆さんに親しまれ、大きく育てて頂きました。1995年鳥取県畜産農協に名称変更、1998年には、南栄町から若葉台へと進出。『より安全で、安心して頂けるお肉の製造を』と、新工場を建設。そして、お肉と野菜の直売センターや試食体験施設焼肉工房パークを含め、『ぶれあいと交流』ができる拠点「フレッシュパーク若葉台」ができました。

2001年BSEによる危機に直面しましたが、これも地域の皆さんの支援で乗り越えることができました。

2001年からは、百年計画「持続可能な農畜産業を目指そう!」とすることで、転作田・休耕田での飼料稲「年の工手」作り、堆肥の水田への還元など循環型畜産業に取り組んできました。いまだでは、鳥取県東部地区で、122haに広がっています。

これまでの東畜時代の取組み「フレッシュパーク若葉台のオープンと交流、肥育牛の生産体制の拡大や安全な牛肉の供給体制の確立、県内各地域での直売店舗の展開や消費者皆さんとの交流の取組み、持続可能な畜産として飼料稲・食品副産物などを利用した牛づくり、循環型農畜産業の取組みなど、これまで地域の皆さんや関係者の皆さんに支えられてきた事業活動が「地域振興部門」の最優秀賞として評価されたものと思います。

設立から、食肉事業の基礎と新工場建設まで、組合員や職員とともに苦労されてきた中村組合長、設立時の野田組合長、そしてBSE時の西山組合長をはじめ、京都生協の内原氏や西村氏、本当に多くの組合員、生協、行政OBの皆さんの献身と苦勞、支えがあつて、今日が迎えられたものです。組合員、職員、そして地域の皆さんと一緒に喜び、本当に地域に役に立つ農協であり続けるよう頑張っていきたいと思えます。

(前ページより)

戸別所得補償制度、畜産政策など大変革の時代・・・

しかし、農畜産業を取り巻く情勢を考えると、本番はこれからです。食料自給率の取組みを始め、飼料稲から、飼料米を含めた自給飼料増産体制の確立、食文化ともいっべき食への提案、地域の畜産や消費者に真に込めるべき、取組みはこれからが大切です。

百年計画の10年というひと区切りが終わり、つぎの10年という新たなステージをどうするか、パートナーである地域の消費者の皆さんと一緒に、どういつ取組みにしていけばよいか。役員一同、力を合わせ新たなスタートを切る年です。情勢は、一層厳しくなっています。畜産審議会に先立って2月22日の中央行動で、酪農の所得補償制度や、飼料米(10/15円)への給与実証の実施、販売促進や理解と交流強化のための施策の強化など、副大臣にぶつけてきました。今年も、あくまで昨年を下回らない程度での決着でした。しかし、23年度の本格実施に向けて、畜産の直接所得支払い、不足支払制度の確立をはじめ、現場での自給飼料の確保、畜産のあり方の変革など、現場での取り組みも一層重要となります。

また農協では今年、第2次中期計画を策定します。新たな10年向け、核となる人材の育成確保を最大の目標としながら、県内の畜産の発展、耕畜連携の発展につながる事業、そして、より消費者や地域に親しまれる農協としての組織のあり方など、方向を意思統一していきたいと考えています。

先日鳥取県中学校校長会でお話する機会があり先生方に、意識的に「社会や地域のために最優先に考える子供」を育てるべき時代だ、と要請しました。そうしなければ、この社会はもたないかもしれない。それは、まず、私たちが、しっかり社会、地域、消費者へ何が出来るか、何をすべきか、組合に結集しながら、しっかり考えて事業や活動を行うことにもつながります。そして、そのことによって、信頼という消費者、生産者の絆や組合員の結集と絆が強まる。生産と経営が継続でき、つぎの世代へつなげていくことができ。そう確信し、挑戦する。組合員役員また地域の消費者総参加型で、新たなステージを切り拓いていきたいものです。



農林水産大臣 赤松 博隆 氏



審査委員長 宮崎 昭 氏



受賞風景 1



受賞風景 2



社) 中央畜産会 会長 小里 貞利 氏



各部門受賞者集合写真

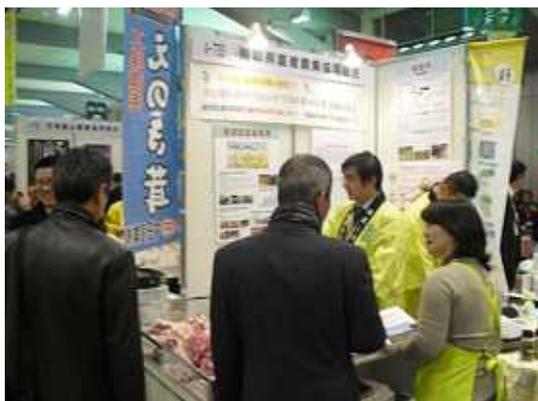
アグリフードEXPO in 大阪

営業部 山根

アグリフードEXPOに出展しました。

2月16日・17日に大阪府でアグリフードEXPOが開催されました。この展示会には多くの業者、また訪れた方もとても多く活気に溢れる展示会になりました。今回の展示会では牛肉を出展している業者は和牛ばかりでしたが、その中でも鳥取牛はホルスタインでも目を引きおもしろいと言ってくださる方も非常に多く、「色々な牛肉食べたけど鳥取牛が一番美味しかった。」と言われ改めて私自身、鳥取牛の良さを再確認が出来たのではないのかなと感じました。また、ホルスタインや味のことだけでなく、飼料稲のことに非常に興味を持ってくださった方も来られてとてもうれしく思いました。

今回の展示会で、今まで鳥取牛を知らなかった人に鳥取牛を知ってもらえたと思いますが、これに満足にせずこれからも更に鳥取牛を広めていきたいと感じました。



理事会だより

2月1日開催

協議事項

第1号議案

12月末実績

第2号議案

第31期事業計画案(案)について

第3号議案

鳥取東伯ミート監査役選出について

第4号議案

(株)美敷牧場交雑素牛販売補填について

第5号議案

外部団体への出資について

追加協議事項

第6号議案

諸規定の変更について

第6号議案

諸規定の変更について

以上の議案が承認されました。

なお、第2号議案については継続審議にすることが決まりました。

議にすることが決まりました。

2月の主な日程

日付	行事
2月 1日	理事会 夕礼、ISO全体集会
2月 8日	畜産大賞受賞表彰式
2月 25日	特別委員会 総務委員会



3月の主な日程

日付	行事
3月 1日	生産委員会 ISO全体集会・夕礼・研修生と新入職員歓迎会
3月 4日	食肉委員会
3月 5日	理事会
3月 15日～17日	監事会
3月 18日	西部地区座談会
3月 19日	東部地区座談会
3月 24日	中部地区座談会

とりちくの各部署職員

紹介コーナー

組合員皆さんには日頃より当組合の事業にたいして日頃よりご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

営業部の職員を紹介します。

後列右から

入江職員
土橋職員
谷村職員
中山職員

前列右から

入江リーダー
小林リーダー
初鹿野マネージャー
末富主任



編集後記

早いもので、もう3月になります。今年
は雪がほとんど降らず、もう春かなあ？
と思う日が何日かありました。暑かった
り、寒かったりと例年に比べて気温の変化
があります。いかがお過ごしでしょう
か？

3月から、美敷牧場のバーベキューハウス
がそろそろ開始の準備を始めると思
います。待ちに待った美敷牧場バーベキューハ
ウスの開始が近づいて来ている。今年も
またバーベキューハウスのご利用お待ち
たしております。

1月は行く、2月は逃げる、3月は去る
ということ、この2ヶ月も早かったです。
3月も早く過ぎそうな予感がします。
そしたら、4月初旬には山開き、4月末に
は、とりちくの総会と、また更にいそがし
さが増してきます。無理をせず、効率よく
仕事をして行きたいと思っています。(ま)

お問い合わせ先

鳥取県畜産農業協同組合

住所：鳥取市若葉台南7丁目2番11号

Tel:0857-52-1129

Fax:0857-52-1131

e-mail:info@torichiku.or.jp

HP:http://www.torichiku.or.jp